

大和町連区

第58号

地域づくり協議会だより

発行日：令和6年 11月 1日 発行者：大和町連区地域づくり協議会 広報部

原稿募集中

一宮市末広三丁目6番1号(大和町出張所内) 電話：28-9006



スピンドル



スーパーボールすくい



変身カメラ

やまとじどうかんまつり

場所:大和児童館 日時:9月28日(土)10:30~11:30 13:30~14:30

テーマみんなあつまれ～つくろう あそぼう たのしもう

今年も楽しみにしていた児童館まつりが開催されました。参加者にゲームとおもちゃづくりを通して心をワクワクさせ楽しいふれあいの場となるように随所に工夫がされていました。会場では「来年も楽しみたいね」という声が多く寄せられていました。児童館まつりにありがとうございました。



コルクわんわん



ワニワニパニック



ボッチャ

スポーツ大会

連区児童育成協議会 会長 井田 肇

大和町児童育成協議会は、子ども達が楽しみにしているスポーツ大会(ドッヂビー大会)を開催しました。半日程・式典縮小・2ブロック制と児童の拘束時間を短縮した大会とし、参加者の健康と安全のため熱中症等の防止対策に努めました。大会には、30チーム500名余の親子と地域・学校・大会関係者100名余が参加をしました。各会場とも蒸し暑い中の開催でした。子ども達の熱戦に夢中になり、拍手が沸き上りました。子ども達はのびのびとプレーを楽しみ高学年が低学年をかばうなど、成長した姿が見られました。この大会に参加し体験してもらう事ができ、子ども会活動が着実に一歩進む事ができました。お父さん・お母さんや地域・学校・大会関係者の理解と協力に感謝いたします。



6/16(日) 場所:大和西小・大和南小 6/23(日) 場所:大和東小

戸塚ニュータウン長寿会サロン

場所:戸塚ニュータウン自治会第2集会場

9月13日午後、長寿会主催のサロンを訪問しました。会員数は100余名で、毎月2回の定例のサロンを開催し、『○○』づくりをしながら楽しい時間を過ごしています。今日は、布を使い「コサージュ」を作りますと、話していただきました。花の色は、葉は、大きさはどうする、聞いたり、手ほどきを頂いたり、また、おしゃべりと、あふれる熱量の動きをたくさん見せていただきました。最後に、敬老の日に会員に贈る『手作りギフトボックス』と写真撮影を行いました。



コサージュ作り



会員に贈る手作り"ギフトボックス"

子ども夏まつり

家庭学習部長 小関 貴士

8月25日(日)、大和公民館主催、子ども夏まつり「鮎のつかみどり・塩焼き体験とミニSLに乗ろう！」を大和公民館で開催しました。今年で14回目、夏休み最後の恒例行事として定着し、多くの参加(1,000人)をいただき、各エリアは長蛇の列となりました。「鮎のつかみ取り」エリアは、生きのいい400匹の鮎を水槽に放流して全身濡れながら素手で捕まえ、その後塩焼きにして食べるという『ヤナ感覚』の醍醐味を体験していただきました。

他には、風船ヨーヨー、かき氷のサービス、今年で3回目になる 名古屋工業大学の学生の協力により石炭を使い蒸気で走るミニSL体験乗車を行いました。今年は、巨大迷路とお化け屋敷を設けて、親子で楽しむ場を増やしました。

公民館活動と家庭学習部の魅力事業の共催として前日から準備に取り掛かり、当日は公民館役員、町内会、子どものボランティア等、多くの皆さんのご協力のもと大成功で幕を閉じました。



鮎つかみ取り



風船ヨーヨー



ミニSL体験乗車

宮地1丁目ふれあいサロン



開催日時:第3水曜日 10:00~12:00
会場:宮地公民館 代表:鈴村 正樹

5月15日、「アジサイリース」作りの情報を町内掲示板より得て、宮地1丁目ふれあいサロンに出かけました。

サロン会場には、過去に手掛けた作品が並べてありました。机上には本日使用する一人分の材料(リース台・アジサイ花びら・葉の折紙等)を置いて皆さんを出迎えてみえました。

あいさつに続き、作品作りの説明開始。皆さん、イメージされた華やかなアジサイとなるように花びら選びから作業が始まりました。花びらの大きさをどうするか、リース台のどの位置に置くか、思案することおよそ1時間、時間を忘れ大作が出来上がりました。最後、リース台をつるくす(方言:つるす)ひもを付けて完成。自宅のどこに飾ろうかと思いを膨らませ、家路に着かれました。



作品展示

末広3丁目カラオケ同好会&サロン

代表:堀口 佐枝子

開催日時:偶数月 第3土曜日 13:00~15:00
会場:末広3丁目安賀集会室

4月20日、タイトル「もしもの時」のために、今できることを考えてみませんかの開催で訪問しました。一宮市地域包括支援センター

萩の里の早川さんから皆さんと講話をしてきました。大病になつたら、配偶者が亡くなつたら、介護・延命治療は。家族の協力や身近な相談機関の利用、人とのつながり、身体活動、食事の大切さを再考してより幸せに生きるようにポジティブな思考の大切さを学びました。第Ⅱ部、皆さんの十八番カラオケ。歌い手と歌詞内容が重なり、一人ひとり有益なサロンになっているなど感じさせてくれました。



講話の様子



カラオケ

戸塚ふれあいサロン

開催日時:第1火曜日原則 10:00~12:00
会場:圓受寺 代表:宮崎 健一

5月14日、『塙の中の中学校』(2010年)の映画会が開催されると聞き、戸塚ふれあいサロンを訪問しました。サロンの場が映画館、皆さんを迎えていました。

長野県にある「松本少年刑務所」内に実在する「松本市立旭町中学校桐分校」を舞台にした生徒と先生との交流を描いたものです。全国の刑務所から入学することになった新入生は、個々の事情により満足に教育が受けられず、読み書き計算も出来ない。入学後、背負った過去を告白していく内容となっていました。社会的課題である「更生教育」を映す映画鑑賞となりました。



感想の会



北高井ふれあいサロン

開催日時:第2水曜13:30~15:30
会場:北高井集会所 代表:石原 京子



皆さんをお出迎え

5月8日、「アジサイのマグネット」つくりをする情報を得て、北高井ふれあいサロンに出かけました。

皆さん一人ひとり、健康・買物等、普段の語らいがひと休みした頃、サロンの始まりのあいさつ、作品作りの説明後、作業の開始。はじめに、5cm程の丸厚紙に紙粘土を盛り付けた土台作り、次に、カットした綿棒を使い2cm角の不織布を土台に留めていきます。中々おもしろい、綿棒をさし直したら花びらのようになったとか、あちらこちらから会話が聞こえてきました。18本程の綿棒を使い切るころには、華やかなアジサイ作品が出来上がりました。そして、土台の紙粘土にマグネットシートを付けて完成です。自宅の冷蔵庫に貼って飾る楽しみがひとつ増えました。